

津山市教育委員会

ロクマル イチゴ

60・15キャンペーン(早寝・早起き・朝ごはん)

子どもの生活実態調査(H18.7実施)

- テレビの視聴時間が長い
- 家庭学習の時間が少ない
- すぐカッとなる

睡眠時間が短く、起床時間は遅く、朝ごはんを食べていない実態が明らかになる。

全国学力・学習状況調査(H19.H20実施)

- 社会性が高い(あいさつ・地域活動への参加)
- 家族での食事ができている
- 授業への関心・意欲がやや弱い
- 知識の活用力が弱い(知識・技能の習得不足)
- 読解力が弱い(無回答率が高い)
- 家庭学習の時間が少ない

朝ごはんを毎日食べている子どもたちは、毎日食べない子どもより、約60分早く寝て、15～30分早く起床している

基本的な生活習慣の定着

「60分早く寝る」「15分早く起きる」運動を津山市独自の取組みとして、学校・家庭・地域を巻き込んだ継続的な展開を図る(60・15キャンペーン)

生活を見直そう

60・15キャンペーン

(60分早寝・15分早起き、朝ごはんを食べてよ！)

めざす津山っ子


学力の向上
規範意識の高揚

たくましく心豊かな児童・生徒の育成

○豊かな心

○確かな学力

○夢と目標をもってたくましく生きる力



テレビ・ゲーム・携帯電話との接し方を見直してみませんか？

毎月第4週は「チャレンジ・ハッピーデー」

チャレンジ・ハッピーデーとは

津山市教育委員会では、平成21年度から、毎月第4週を「つやまっ子 チャレンジ・ハッピーデー」ウィークと定め、家庭での時間の使い方を家族といっしょに考え、見直し生み出した時間を、家庭学習や家族での会話・読書・家事をするなど有意義な時間を創り出す取組みをスタートします。

第4週は
チャレンジ・ハッピーデー

H21津山市教育委員会

学力と生活状況との関連は・・・

全国学力・学習状況調査結果からも、基本的な生活習慣が身につけている子どもは、学力がしっかりと身につけているとの結果が出ています。今、津山の子どもたちは、全国平均と比べて、テレビやゲーム等をしている時間が長く、家庭学習をしていない割合が高いことが明らかになり、大変心配しています。
【津山市の子どもたちの実態】(H20全国学力調査結果から)

- ◆テレビ・ゲームを1日3時間以上見る・する 小学生: 51.3%(46.1) 中学生: 44.1%(39.8)
- ◆家庭学習を1日全くしない 小学生: 6.5%(4.5) 中学生: 8.3%(7.7)

()は全国平均

つやまっ子の将来の夢の実現のために
今こそ、家庭と学校がいっしょになって、
子どもたちの生活の見直しが必要です。
ご協力をよろしくお願い致します。

具体的な取組みとして

- ◆各学校から家庭には、こんな働きかけをします。
例えば、「ノーテレビがんばりカード」「メディア計画表」「つやまっ子チャレンジ15分間読書」「親子でいっしょにチャレンジ」などを提案します。
- ◆教育委員会では、5月19日(火)～21日(木)と11月22日(日)～24日(火)を市内全36校一斉の取組みを行います。

